

自生園だより

すべてのの方々の幸せを願って、これまでも、これからも。



常務理事 木崎 馨雄

天皇陛下のご即位に伴い、元号が平成から令和に変わりました。新しい時代に第一步を踏み出す、すがすがしい気分を感じています。自生園でも新しい取り組みが始まりました。日本で介護士を目指すタイからの留学生第一号が我々の職場に仲間入りしました。

自生園の母体である那谷寺では、10年以上前からチベット難民やラオスのスラムの子どもたちへの支援を行ってきました。現在の制度では、チベットやラオスの若者たちに介護士の道を開くことはまだ難しいのですが、ラオスの隣国であるタイにも介護士を目指す人材は多くいます。もともとタイには様々なご縁があり、自生園にもタイ出身の方が介護士として働いていますので、受け入れに際して十分な支援と理解が可能であると考えています。10月にも二人目の留学生が来日する予定です。将来的には那谷寺が支援するチベットやラオスの若者にも制度の拡充ができるよう働きかけていきたいと考えています。

この4月より新たな留資格「特定技能」制度が創設されました。深刻な人手不足を補うものとして脚光を浴びていますが、私たちは海外から働きに来る人材に対して、単なる穴埋めや安い労働力という見方をしてはいません。共に働く仲間としてどう認め合っていくかという視点がないと、我々は選ばれる施設にはなりません。もはや世界的には人材獲得競争になっており、優秀な人材が日本を選んでくれるのかという現状になっているのです。福祉においてノーマライゼーションの原理はもはや当たり前になっていますが、少し視点が変わると人間はとらえ方が変わってしまうがちです。ダイバーシティの推進を、我々福祉にかかわるものが率先して行うべきではないでしょうか。障がい者であろうと、外国人であろうと、LGBTであろうと、すべての人が幸せを共有できるように、私たちの「あたりまえ」を見直していくことが必要です。養護(盲)老人ホームの職員用に調達したヨシタケシンスケさん作の絵本「みえるとかみえないとか」の中には、それぞれの違いを宇宙人や生まれた時に貰う乗り物に例えています。みんな違って「あたりまえ」をわかりやすく描いており、楽しく読むことができる素敵な絵本でした。外国人だけでなく私たちすべてが少しずつ違います。けれど、私たちは同じ地球人なのです。

それぞれの違いを認め合える職場を作るのは、福祉の現場が最も良い場所であると感じています。自生園の職員はきつと素敵な職場にしてくれることでしょうか。私には数年後、海外からの人材が帰国する時の、このような様子が見えています。「日本に来てよかった。日本の皆さんありがとう。」「あなたが来てくれてよかった。ありがとう。」

ノーマライゼーション：障害をもつ者ともたない者とは平等に生活し、ともにいきいきと活動できる社会を目指す考え方。
ダイバーシティ：多様性を意味し、企業においては、年齢・性別・学歴・職歴・国籍・人種・民族・性的指向・性自認といった側面から人を制限せず、積極的に採用していく取り組み。
LGBT：Lesbian(女性同性愛者)、Gay(男性同性愛者)、Bisexual(両性愛者)、Transgender(出生時に診断された性と自認する性の不一致の頭文字をとり、セクシュアル・マイノリティー(性的少数者)の一部の人々を指した総称。

2019年4月より新たな特定技能の在留資格が創設され、
介護の分野でも外国人の方が就労できるようになりました。

自生園では以前より外国出身の方が働いています!

自生園は 介護技術を活かした 国際貢献に取り組んでいきます!

『社会貢献』
国際的に実践!



上原 ビルレネさん
出身国：ブラジル
2013年7月～就業



自生園で働くキッカケ

ハローワークで仕事を探していたとき、以前 自生園で働いていたマルシアさん(ブラジル出身)から介護の仕事をお勧めいただいたのがキッカケです。

働いてみた感想

これまで工場でしか働いたことがなく、介護の仕事は初めてで不安がありました。とてもやりがいのある仕事です。お年寄りの皆さんのお世話をすることでお役に立てているような感じがして、毎日 嬉しい気持ちになります。今では一番 好きな仕事です。介護のことは分からないことばかりですが、職員の皆さんが教えてくれたり、サポートしてくれたりするのでとても嬉しいです。

今後の抱負

もっと介護の勉強をして、皆さんのお役に立てようになりたいです。



西垣 スタリーさん
出身国：タイ
2016年12月～就業



自生園で働くキッカケ

今まで約5年間病院の認知症病棟で介護の仕事をしてきましたが、ご縁があり、声をかけて頂きました。

働いてみた感想

今まで経験した病院の介護とはだいぶ違って、自生園でまた新たな介護の経験を積むことが出来ます。

今後の抱負

外国人留学生支援計画が成功するように協力したいと思います。彼女達の夢、未来を応援したいと思います。



介護職種の技能実習生や留学生などの就業を支援し、
介護に関する知識や技術向上をサポートすることで、高
齢化が進む東南アジアでの介護の担い手となる人材を育
成します。これによって、社会福祉法人の公的使命である『社会貢献』を国際的に実践してまいります。



タイから留学生1名が4月に来日
10月にもさらに1名来日予定



技能実習生や
留学生などの
就業支援



介護に関する
知識や技術の
向上をサポート



高齢化が進む
東南アジアでの
介護の担い手へ

パシャ! 思い出スナップ



あれから60号



養護(盲)老人ホームが開設して1年後の昭和
57年9月25日に発行された創刊号。
37年の時を経て本号で60号となりました。

お知らせ



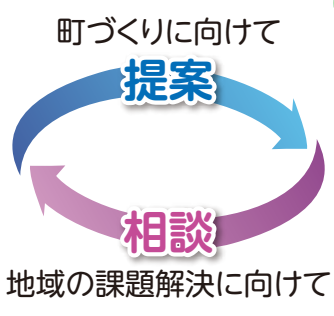
ホームページが
新しくなりました!

お客様により快適にホームページをご覧いただけるよ
うに、『分かりやすく』『見やすい』レイアウトにしました。
今後も内容の充実を さらに進めていきますので、皆さ
まのご意見をお聞かせください。

南部高齢者総合相談センターの **我が事・丸ごと** 安心でやさしい!町づくりの推進

地域に住んでいる一人ひとりが自分たちの町を『我が事』と考え、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながり、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会(地域共生社会)の実現が、国の方針として進められています。

南部高齢者総合相談センターは、地域の課題を地域の方と一緒に考え、安心して暮らせる町づくりのお手伝いをします。



町づくりの提案



センターからの提案を受けて、自分たちの町でも高齢者だけの世帯や一人暮らし世帯が増えてきている現状を知ったことから、『班長による見守り』など、町の中での支え合いが始まりました。

送迎支援



この町内は高台にありバス停もありません。免許を返納した方が通院等で出かける際は、町外のバス停まで坂道を歩いて通っています。年を重ねるにつれ登り降りが難しくなり、日常生活に心配の声があがっています。町内からこのような相談を受けて外出のお手伝いを始めました。

南部高齢者総合相談センターは、『みんなの暮らし』を『みんなを守る』町づくりに取り組んでいます!

お気軽にご相談ください。TEL 0761-65-3131

ご芳志

平成30年10月～平成31年3月

どうもありがとうございました。

- 那谷地区社会福祉協議会
- コンフォート美容室
- 本廣寺
- 心和会(那谷校下老人会)
- ヘア-スタジオMy夢
- こぼと保育園
- 小松東ロータリークラブ
- 髪屋 yocchi
- 那谷保育所
- メイプルレディース
- 美容室 mari
- 矢田野こども園あおぞら
- 陽だまり会
- 紙芝居の会
- 北陸幼稚園
- 民謡山本会
- 琴和会
- 粟津小学校
- 立正佼成会
- 小松市まちづくり市民財団
- 能美小学校
- カットハウス髪和ざ
- 鼓月
- 板津中学校
- Studio~you
- 袖の会
- 税理士法人人工モーション(亀井事務所)
- アスメニエ
- 成田歌謡塾
- 石倉薬局

個人情報保護の観点から、個人名の記載は省略させていただきます。(順不同・敬称略)

編集後記

風五月。俳句では5月の爽やかな晴天に吹く風のことをいいます。今まさにぴったりの言葉ですね。本号で自生園だよりは60号を迎えました。プチリニューアルとして開き方向を変更してみました。いかがでしたでしょうか。創刊号が昭和57年に発行され、平成を経て、令和へと3代にわたって続く自生園だより。これからも、読者の皆さまに喜んでいただけるよう、新たな風を吹き込んだ紙面づくりを心がけますので、どうぞよろしくお願いたします。